

[表面] 試験が始まる前にこの頁に書いてあることをよく読んでください。
(裏面は試験問題になっているので、指示があるまで見てはいけません)

第二種電気工事士 技能試験 [試験時間 40分]

<< 注意事項 >>

1. 受験番号札に受験番号及び氏名を記入し、試験終了後、作品にしっかりと取り付けてください。取り付け位置は、どこでも結構です。
2. 試験終了後、作業を続けている場合は、失格となります。

<< 支給材料等の確認 >>

試験開始前に監督員が指示しますので、指示に従って与えられた材料等を下記の材料表と必ず照合し、材料の不良、破損や不足等があれば監督員に申し出てください。

試験開始後の支給材料の交換には、一切応じられませんので、材料確認の時間内に必ず確認してください。
なお、監督員の指示があるまで照合はしないでください。

材 料	
1. 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形 (シース青色), 2.0mm, 2心, 長さ約 250mm	1本
2. 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形, 1.6mm, 2心, 長さ約 850mm	1本
3. 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形, 1.6mm, 3心, 長さ約 1050mm	1本
4. 露出形コンセント (カバーなし)	1個
5. 引掛シーリングローゼット (ボディ (角形) のみ)	1個
6. 埋込連用タンブラスイッチ (3路)	2個
7. 埋込連用取付枠	2枚
8. リングスリーブ (小)	6個 (予備品を含む)
9. 差込形コネクタ (2本用)	2個
10. 差込形コネクタ (3本用)	2個
・ 受験番号札	1枚
・ ビニル袋	1枚

<< 追加支給について >>

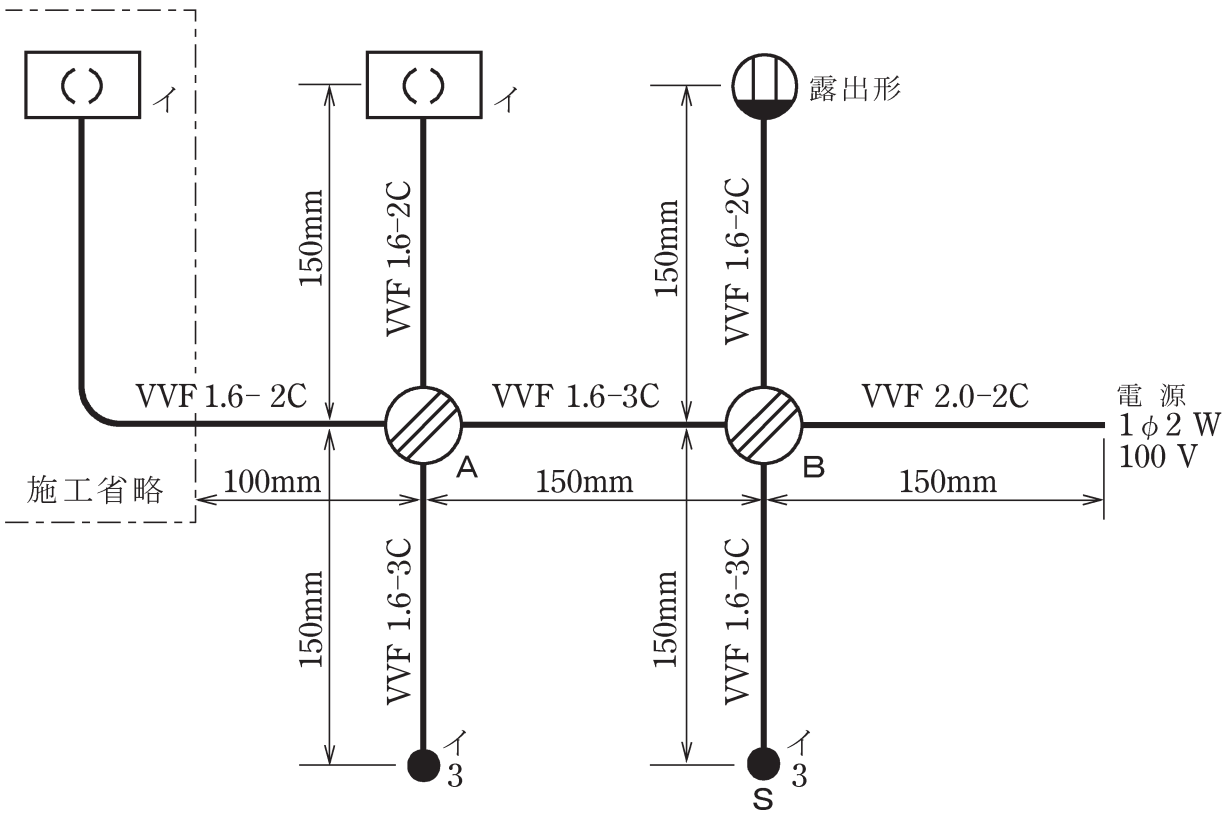
露出形コンセント用端子ねじ、リングスリーブ及び差込形コネクタは、作業のやり直し等により不足が生じた場合、申し出 (挙手をする) があれば追加支給します。

技能試験問題 [試験時間 40分]

図に示す低圧屋内配線工事を与えられた材料を使用し、〈 施工条件 〉に従って完成させなさい。

なお、

1. ----- で示した部分は施工を省略する。
2. VVF 用ジョイントボックス及びスイッチボックスは支給していないので、その取り付けは省略する。
3. 電線接続箇所でのテープ巻きや絶縁キャップによる絶縁処理は省略する。
4. 作品は保護板（板紙）に取り付けられないものとする。



注：図記号は、原則として JIS C 0303:2000 に準拠している。

また、作業に直接関係のない部分等は省略又は簡略化してある。

〈 施工条件 〉

1. 配線及び器具の配置は、図に従って行うこと。
2. 3路スイッチの配線方法は、次によること。
3路スイッチの記号「0」の端子には電源側又は負荷側の電線を結線し、記号「1」と「3」の端子にはスイッチ相互間の電線を結線する。
3. 電線の色別（絶縁被覆の色）は、次によること。
 - ①電源からの接地側電線には、すべて**白色**を使用する。
 - ②電源から3路スイッチ **S** 及び露出形コンセントまでの非接地側電線には、すべて**黒色**を使用する。
 - ③次の器具の端子には、**白色の電線**を結線する。
 - ・露出形コンセントの接地側極端子（**W**と表示）
 - ・引掛シーリングローゼットの接地側極端子（接地側と表示）
4. VVF用ジョイントボックス部分を経由する電線は、その部分ですべて接続箇所を設け、接続方法は、次によること。
 - ①A部分は、差込形コネクタによる接続とする。
 - ②B部分は、リングスリーブによる接続とする。
5. 露出形コンセントへの結線は、ケーブルを挿入した部分に近い端子に行うこと。